



2022年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2022年2月10日

上場会社名 株式会社ピーバンドットコム 上場取引所 東
 コード番号 3559 URL <https://www.p-ban.com/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 (氏名) 田坂 正樹
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役CFO (氏名) 上田 直也 TEL (03) 3265-0343
 四半期報告書提出予定日 2022年2月10日 配当支払開始予定日 未定
 四半期決算補足説明資料作成の有無：有
 四半期決算説明会開催の有無：有

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期第3四半期の業績 (2021年4月1日～2021年12月31日)

(1) 経営成績 (累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,424	3.4	140	23.6	142	21.3	98	24.7
2021年3月期第3四半期	1,377	△12.5	113	△41.7	117	△34.7	78	△41.8

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年3月期第3四半期	20.80	20.08
2021年3月期第3四半期	17.85	16.18

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年3月期第3四半期	1,514	1,255	82.9
2021年3月期	1,527	1,182	77.4

(参考) 自己資本 2022年3月期第3四半期 1,255百万円 2021年3月期 1,182百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
2022年3月期	—	0.00	—		
2022年3月期 (予想)				8.00	8.00

(注) 1. 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：有

2. 配当予想の修正については、本日 (2022年2月10日) 公表いたしました「配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2022年3月期の業績予想 (2021年4月1日～2022年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	1973	△0.8	200	△2.2	204	△2.6	141	△1.1	29.89

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2022年3月期3Q	4,848,406株	2021年3月期	4,787,206株
② 期末自己株式数	2022年3月期3Q	83,560株	2021年3月期	91,873株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2022年3月期3Q	4,722,509株	2021年3月期3Q	4,411,199株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	4
第3四半期累計期間	4
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	5
(継続企業の前提に関する注記)	5
(追加情報)	5
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	5
(セグメント情報等)	5

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期累計期間（2021年4月1日～2021年12月31日）における国内の電子工業は、計測・測定機器、通信機器、半導体設備関連等の産業機器分野の需要が回復する一方、新型コロナウイルス感染症に起因した半導体等一部の電子部品の世界的な不足が続いております。経済活動は徐々に持ち直しの動きがみられるものの、再び感染力の強い変異株の流行拡大により、依然として経済の見通しは不透明であります。

このような事業環境の変化から、当社では今後2-3年の短期視点だけではなく、より長期的な世の中の変化をトレンドとして捉えた経営が必要になると考え、2022年度から2030年度に渡る、「長期ビジョンに基づく中期経営計画」を策定しました。今後予想される産業・技術の変化、地政学的リスク、サステナビリティ課題など幅広く検討しながら、「ピーバンドットコムが2030年のありたい姿」を明確にし、「誰でも簡単にアイデアさえあればモノが具現化できるサービス（世界）の提供」の実現を目標に事業運営を進めてまいります。

当社の主力事業であるプリント基板EC「P板.com」事業では、中堅・大手企業の利用が増加傾向にあり、さらなる利用拡大のためには、従来のEC販売による効率的な受注システムに加え、人による顧客サポートの充実が重要な突破口になると考え、「仕組み（知的資本）×人間（人的資本）」のハイブリッドによる拡販戦略を基本としております。当期はとくに「人間（人的資本）」強化のため個別営業プロジェクト「CSサクセス」を立ち上げ、上位顧客への接点強化を図ることにより、顧客ニーズの深堀りと受注獲得を進めております。また、並行して従来のカスタマーサポート業務の負荷軽減を目的とした業務効率の見直しをすることで人件費を抑制しながら「CSサクセス」に人材シフトする取り組みを実施しました。

潜在顧客開拓の活動は、Google等検索エンジンへのインターネット広告（リスティング広告）による新規ユーザー獲得獲得が中心ですが、他社との共催による技術者向けのオンラインセミナーのラインナップを刷新し、新規ユーザー登録の誘導を図りました。その結果、累計ユーザー登録数は前期末61,559名から、65,237名（前期末比6.0%増）となりました。

しかし、電子機器の一括受託生産を行う「P板.com EMS」においては、世界的な半導体等一部電子部品不足の影響を受けて生産台数に制限が出るなど、受注計画への影響が発生しております。

以上の結果、当第3四半期累計期間の売上高は1,424,285千円（前年同期比3.4%増）、販売費及び一般管理費は349,266千円（前年同期比4.5%増）、営業利益140,647千円（前年同期比23.6%増）、経常利益は142,358千円（前年同期比21.3%増）、四半期純利益は98,212千円（前年同期比24.7%増）となりました。

当社はプリント基板のEコマース事業の単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（資産の部）

当第3四半期会計期間末における総資産は1,514,836千円となり、前事業年度末と比較して12,699千円の減少となりました。主な要因は、現金及び預金が65,522千円、無形固定資産が8,310千円、出資金が27,500千円増加した一方、売掛金が107,295千円、商品が2,333千円減少したこと等によります。

（負債の部）

当第3四半期会計期間末における負債合計は259,514千円となり、前事業年度末と比較して85,074千円の減少となりました。主な要因は、賞与引当金が10,922千円増加した一方、買掛金が65,494千円、未払法人税等が18,839千円減少したこと等によります。

（純資産の部）

当第3四半期会計期間末における純資産合計は1,255,322千円となり、前事業年度末と比較して72,374千円の増加となりました。主な要因は、利益剰余金が四半期純利益を計上したことにより98,212千円増加、配当金の支払により利益剰余金が37,562千円減少したことに加え、新株予約権の行使により、資本金が2,595千円、資本剰余金が2,595千円増加し、自己株式が7,962千円減少したこと等によります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

業績予想につきましては、2021年11月11日に発表しました「通期業績予想の修正に関するお知らせ」より変更はございません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2021年3月31日)	当第3四半期会計期間 (2021年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,007,566	1,073,089
電子記録債権	1,330	555
売掛金	326,853	219,557
商品	29,769	27,436
その他	13,322	12,888
貸倒引当金	△1,511	△1,274
流動資産合計	1,377,330	1,332,252
固定資産		
有形固定資産	12,264	12,425
無形固定資産	45,418	53,729
投資その他の資産		
その他	93,719	117,626
貸倒引当金	△1,196	△1,196
投資その他の資産合計	92,522	116,429
固定資産合計	150,206	182,584
資産合計	1,527,536	1,514,836
負債の部		
流動負債		
買掛金	236,767	171,273
未払法人税等	28,403	9,563
賞与引当金	2,319	13,242
その他	62,663	51,757
流動負債合計	330,153	245,836
固定負債		
退職給付引当金	14,435	13,677
固定負債合計	14,435	13,677
負債合計	344,588	259,514
純資産の部		
株主資本		
資本金	172,918	175,514
資本剰余金	138,918	141,514
利益剰余金	958,841	1,018,113
自己株式	△87,898	△79,936
株主資本合計	1,182,780	1,255,206
新株予約権	167	116
純資産合計	1,182,947	1,255,322
負債純資産合計	1,527,536	1,514,836

(2) 四半期損益計算書
(第3四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第3四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)	当第3四半期累計期間 (自 2021年4月1日 至 2021年12月31日)
売上高	1,377,885	1,424,285
売上原価	929,816	934,371
売上総利益	448,069	489,913
販売費及び一般管理費	334,313	349,266
営業利益	113,755	140,647
営業外収益		
協賛金収入	2,650	850
受取利息	4	4
為替差益	195	—
受取手数料	386	323
保険解約返戻金	—	627
その他	404	405
営業外収益合計	3,641	2,211
営業外費用		
為替差損	—	496
その他	3	4
営業外費用合計	3	500
経常利益	117,393	142,358
特別損失		
固定資産除却損	2,041	—
役員弔慰金	1,500	—
特別損失合計	3,541	—
税引前四半期純利益	113,852	142,358
法人税、住民税及び事業税	31,623	40,456
法人税等調整額	3,467	3,688
法人税等合計	35,091	44,145
四半期純利益	78,761	98,212

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（追加情報）

新型コロナウイルス感染症（以下、本感染症）の影響に関して、当社は現時点では、厳重な対策を実施した上で事業活動を継続しており、現時点においては、平常時と同水準の稼働率を維持しております。

しかし、本感染症は経済、企業活動に広範な影響を与える事象であり、また、今後の広がり方や収束時期等を予想することは困難なことから、当第3四半期会計期間末時点で入手可能な外部の情報等を踏まえて、今後、2022年3月期の一定期間にわたり当該影響が継続するとの仮定のもと、繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りを行っております。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（セグメント情報等）

【セグメント情報】

当社はプリント基板のEコマース事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。